

◎ 木造公共施設紹介

施設名 山形村 地域交流施設

(平成22年度事業)

構造 : 木造平屋建て

延床面積 : 1棟 248.43m²

木材使用量 : 60.0m³ うち県産材56.7m³

主な樹種 : スギ32.3m³、ヒノキ11.4m³、アカマツ13.0m³

施設概要 : 前の施設が、大正4年(1915年)に建てられ、旧村役場庁舎としても長年親しまれてきた木造建築物だっただけに、古き良きモダンな雰囲気を受け継いだ重厚な木造施設にしました。

館内外で適材適所に使われている木材には、樹種と産地を表示したプレートを設置し、各樹種の特徴を活かした風合いのある美しい木肌や木目が実感できます。

特に、アカマツ床材は、木目がくっきりと美しく、また色調も白色系のため、優しい質感で、時を重ねるごとにさらに風合いが出てきます。



全 景



玄関ホール



アカマツ床材が美しい大会議室



廊 下